

リサイクルの質向上へ

プラスチックリサイクルビレッジ

機器製造と原料商社の10社

リサイクル関連機器メーカー、再生原料商社など10社共同によるコンソーシアム「プラチックリサイクルビレッジ」は、技術の高度化とネットワークにより、持続的で質の高い

リサイクル事業を提案する。原油・樹脂価格下落や海外の再生原料市場の変化に対応し、国内外需要家の要望を満たす高品質の再生材加工・供給を目指す。2013年からコンソーシアムによる取り



プラスチックリサイクルの「未来」がここに結集。

組みを始めた。今回、ビレッジに参画するのはリサイクル機器メーカーの山本製作所、名濃、クラウド、日本シーム、サンモア、テク

高度化でネットワークと技術

ノリンクス、ORWAK Japan、プラントシステムと、再生プラスチック原料商社のパナ・ケミカル、協賛の発泡スチロール協会の10社。パナ・ケミカルが事務局（☎0120・15・8793）を務める。

ク市場の短期的な回復も見られるものの、長期的にはマテリアルリサイクル事業の見通しは不透明な状況にある。リサイクル事業を持続的なものにするためには、樹脂やグレードに応じた破碎や圧縮、溶解固化、異物除去、洗浄などの効率向上や高品質の再生材加工が不可欠になっている。リサイクル企業の新たなネットワークも重要だ。

5月24日から東京ビッグサイトで開催される2016NEW環境展などを通じて、リサイクル・廃棄物処理業界、廃プラスチックの発元企業、再生プラスチックの需要家企業に「マテリアルリサイクルの「未来」を提示する。各社が技術・サービスを提案するとともに、共同によるさまざまな技術や有償買取の提案を行う。

産油国の生産調整や中国の再生プラスチック